

ご挨拶



同窓会理事長 高祖日出夫

皆様には日頃から同窓会運営にご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

3月11日に発生した「東日本大震災」は、未曾有の地震津波災害でしたが、被害を受けられた方々に心からお見舞い申し上げます。

会員の中にも東北地方、千葉、茨城県を含む関東地方に多数の方々が居住しておられます。

皆様方のご無事と一日も早い復興と安全をお祈りいたします。

1月26日母校の正門並びに校地を囲む石積、柔道場、東書庫、西書庫、4件が、国の登録有形文化財に登録され、文化庁から、「この建造物は、貴重な国民的財産である」と銘記された重厚なプレートが交付されました。これにより伝統校とし

ての重みが一層増しました。

四季折々の変化を楽しめる学園にあつて、東西書庫と並ぶ創立90周年記念事業で建てた同窓会館も存在感が出て同窓生の絆も強まることと確信しております。

3月1日の同窓会入会式では、319名の新卒業生を迎えました。恒例となっております岡山での総会は、岡山ロイヤルホテルで11月19日の土曜日に開催されます。本年の当番学年、昭和34、44、54、平成元年、11年卒の皆さんのご協力を頂いております。大勢ご参加下さるようお願い申し上げます。又、岡山でのゴルフ、ボウリング大会、東京での京浜同窓会、大阪での近畿同窓会、学年同期会、部活OB、OG会等機会があればご参加頂きたく思います。

今後とも、同窓会活動にご協力を賜りますようお願い申し上げます。



昭和三十三年卒
昭一三三会

満卒寿同期会を昨年開催しました。

一昨年5月卒寿同期会を開き、この集いが最後であろうと思つて居ましたが、又逢おうとの事にて昨年も同じ条件で開きました。

集つた面々は前回より2名(地元)少ない乍らいつもの常連で少人数(写真の如く)にも拘わらず大変盛り上がり、時の経つのも構わず予定時間を大きく超過し、恒例の校歌斉唱もせずに終わってしまいました。



平成22年9月16日
岡山プラザホテル 参加者9名

向後は「昭一三三会便り」でも発行してお互いに生きて居る証にしようかと言う事になったものの、しかし内心白寿を目指して居る向きも否めない雰囲気も感ぜられました。

(田村 甫)

昭十五年卒・十四年修
いちご会

例年通り「いちご会」を開くことができました。今年は一尾市から大前恒夫君が出席してくれて、話はずみでした。昨年から他界された方は日笠恒久・岐部富久水、以上2名の方です。謹んでご冥福をお祈りします。お互い健康に留意して頑張りましょう。今年の出席者は写真前列左から、大前・黒瀬・日下・後列左から藤家・長井・岡本・辻の他松田の8名でした。

(辻 五朗)



平成23年5月15日
えきまえミヨシノ 参加者8名

東京

一年ぶりの再会を祝し、各

人近況報告、歓談。寺山宏君から「邪馬台国から日本国誕生の道程」(670頁)を9月に発刊した旨報告あり。彼は東大理学部生物化学科教授、専門はがんの生化学。古希を迎え日本古代史、特に吉備国について独り本格的の研究を始めて20年、今回の出版となった。然しながらこの会の一ヶ月後に急逝された。彼の業績に敬意を表し、ご冥福をお祈りする。

(辻 高弘)



平成22年11月15日
学士会館 参加者7名

昭和十八年卒・十七年修
岡山一中牛歩会

牛歩会有志総会

桜花爛漫の庭園をバックに記念撮影。次いでテーブルを囲んで乾杯。会食中も恩師・旧友の消息等を廻つて話に花が咲き、今回の東日本大震災・津波・原発事故・風評被害の話題も出て、我々世代が昭和20年の敗戦・平成7年の阪神淡路大震災の事例から現